

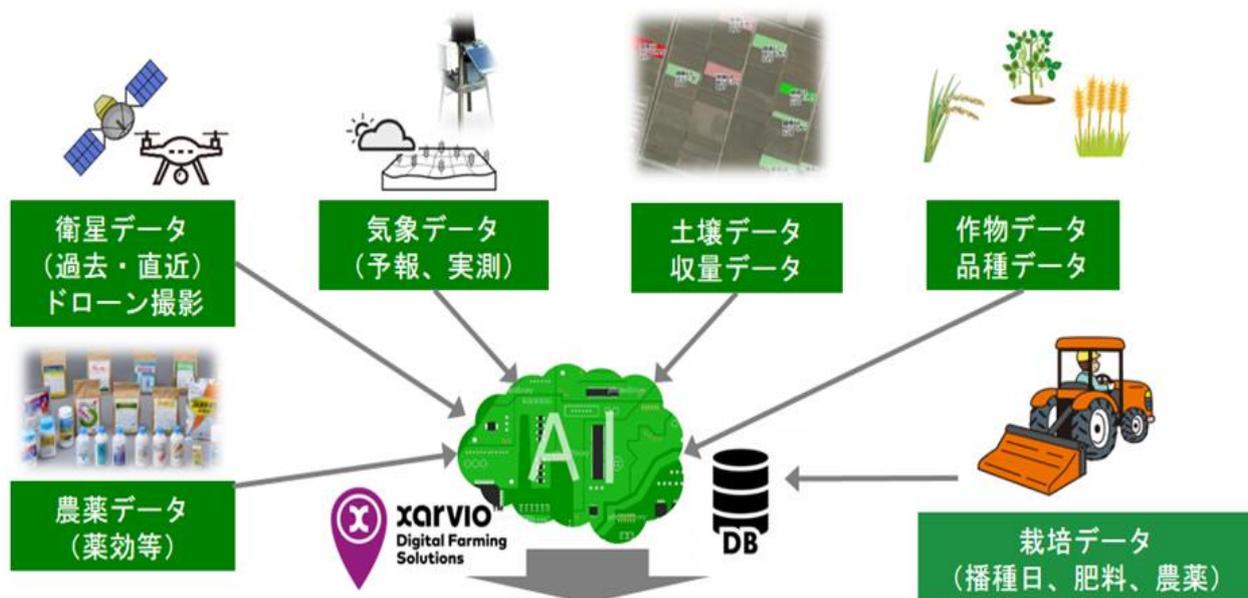
AIを活用した栽培管理システム 「ザルビオフィールドマネージャー」の紹介

1. ザルビオフィールドマネージャーとは

各圃場の土壌や作物の品種特性、気象情報、人工衛星からの画像等をAIが解析して、作物の生育や病害・雑草の発生を予測、最適な防除時期や収穫時期等を提案します。いつ、どのような作業が必要かを圃場ごとに把握できるため、効率的な栽培管理計画を作ることが可能になります。

来年4月には「水稻」、「大豆」を対象にサービスを開始し、その後も対象作物を増やす予定です。詳細情報は、適宜、情報発信します。

また、営農管理システム（Z-GIS）との連携もおこないます。



- 生育ステージ予測
- 最適防除タイミングの推奨、施肥・倒伏などのアラート機能
- 薬剤の推奨、希釈率等の自動計算
- 病虫害の発生状況、生育と連動した可変散布マップ作成、農機連動

2. ザルビオフィールドマネージャーの利用例

①



圃場登録、作付計画入力
(品種、播種日、予測収量等)

②



気象、品種特性等をもとにA Iが
病害発生リスクの高い圃場を特
定 (赤色)

③



ザルビオのアドバイスを参考に
農薬散布

④



病害発生リスクが低下 (緑色)

3. お問い合わせ先

J A全農 耕種総合対策部 スマート農業推進室

T E L : 03-6271-8274 F A X : 025-5218-2535

J A全農にいがた 担い手・営農支援部 担い手・営農支援課

T E L : 025-232-1550 F A X : 025-232-1555

e - m a i l : zz_nt_ninaite@zennoh.or.jp

(担い手・営農支援部 担い手・営農支援課)

※ 掲載内容の無断使用・転載を禁じます。